

北海道大学帰国子女入試 適性試験(化学)

モデル問題出題の意図

- ・ 出題範囲は「化学基礎」および「化学」です。
- ・ 基礎力を評価する計算問題や選択問題以外に、総合力を評価する記述式の問題を出題します。
- ・ 大問①～③のいずれにも、基礎力と総合力を評価する問題を出題します。
- ・ 基礎力については、以下の三点を特に評価します。
 - (1)教科書で取り上げられている用語の定義や概念を正確に理解していること。
 - (2)教科書で取り上げられている法則を理解し、それに基づいた関係式から適切な計算により、数値を求めることができること。
 - (3)教科書で取り上げられている物質の性質・構造・反応を理解していること。
- ・ 総合力については、上記に加えて、記述式の問題を通じて、グラフ・図・化学反応式・構造式などを適切に用い、論理的に文章として解答を作成する力を評価します。
- ・ それぞれの大問については、おもに以下の内容についてそれぞれ評価します。

大問①

 - ・ 物質の共通の性質（通性）や化学反応などに関する様々な化学の法則を理解していること。
 - ・ 化学の法則に基づいた関係式を理解し、物質の物性値などを計算により求めることができること。

大問②

 - ・ 無機化合物の性質・構造・反応を体系的に理解していること。

大問③

 - ・ 有機化合物・高分子の性質・構造・反応を体系的に理解していること。

なお、大問①～③はそれぞれ H31 年度一般入試後期日程の入試、R2 年度一般入試前期日程の入試、H30 年度一般入試後期日程の入試において、本学で出題された問題を一部改変したものです。